

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 石光 藍人

- 1 日時 令和5年 11月 10日(金) 第5校時
- 2 場所 4年生教室
- 3 学年 第4学年 男子7名 女子13名 計20名
- 4 単元名 「神石高原町の野菜を使ったオリジナル料理を食べてもらおう！」
- 5 単元について

## ○児童観

本学級の児童は、総合的な学習の時間において、神石高原町の特産物について調べ、レシピを考案する学習に取り組んできた。1学期には、主に「野菜を育てること」「レシピを考え調理すること」「作った料理を先生に食べてもらうこと」を行った。多くの先生に「おいしかった。」と言ってもらえて活動の達成感を感じている。野菜を育てる、神石高原町の食材を使ったレシピを考える活動を通して、神石高原町の食材の魅力をもっと伝えたい、知ってほしいという思いをもっている。

9月からは、1学期にレシピを考え調理した経験を生かし、給食のレシピを考え、実際に給食センターの方々に作ってもらい、給食として神石高原町内の児童生徒に食べてもらう活動をしたいと考えている。そのために、栄養士さんに連絡し協力してもらおうなど地域の方々と協働しながら活動に取り組んでいる。

本学級の児童に、総合的な学習についてのアンケートを行ったところ、結果は次の通りとなった。

(肯定的評価/20人中)

課題 発見力	1	身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつけています。	19	
	2	地域の方や問題解決に向けて取り組んでいる人々が困っていること(問題)を知り、それらを解決するための方法を考えています。	19	
	3	友達や、地域の人々がもっている悩みを解決したり、願いをかなえてあげたりしたいと思います。	18	
課題 解決力	4	解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。	18	
	5	課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。	16	
	6	課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	17	
	7	たくさんの資料から、必要な情報を集めることができます。	18	
	8	集めた情報から、適切なものを選んで、調べたことをまとめることができます。	16	
	9	調べてわかったことを、効果的な方法(図、グラフ、表など)を考えてまとめています。	18	
	10	情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して何が分かるのかを考えています。	18	
	11	友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	20	
	12	発表する相手を意識して、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	16	
	13	自分の考えを積極的に伝えていきます。	18	
	14	友達と話し合う時、お互いが納得のいく考えをつくらうとしています。	19	
	力返振り	15	学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか。」「学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	20

1 6	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」「もっと調べてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	18
1 7	自分の住んでいる地域のことが好きです。	20

アンケートの結果から、概ね肯定的な評価をする児童が多かった。

課題発見力に関わっては、「身の回りのものやできごとから自分が調べてみたいことをみつめています。」の項目において肯定的な評価をする児童が多かった。これは、昨年度の総合的な学習の時間での活動や日頃の生活の経験から、「やってみたい」「考えてみたい」を中心に活動を進めてきたからだと考える。

振り返り力に関わっては、「学習の振り返りをするときには、どこまで分かったか、学習方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由を考えています。」の項目において肯定的な評価をする児童が多かった。これは、休憩時間での児童とのやり取りから課題につなげたり、児童の振り返りの記述から課題につなげたりすることで、自分で課題を発見したり、振り返りで次の学習につながることを考えたりすることができるようになってきたからだと考える。

しかし、課題解決力の項目が全体に比べて割合が低い傾向にあった。

具体的には、「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」「集めた情報から、適切なものを選んで、調べたことをまとめることができます。」「発表する相手を意識して、自分の考えとその理由を明らかにして、分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。」の項目である。これまでの学習で、インタビューやインターネット、本を用いての情報収集を行ってきた。しかし、インターネットを活用しての情報収集が主であったこと、調べた内容のメモはしていたものの、分かりやすくまとめて伝える活動が少なかったことが、肯定的評価が低い傾向につながっていると考える。

#### ○単元観

本単元では、神石高原町の特産物を調べたり、育てたり、伝えたりすることで、自分達が住む神石高原町の魅力を改めて感じるとともに、より多くの人に神石高原町の魅力を知ってもらいたいと思う心情を育てていきたい。その思いのもと、児童たちの課題解決学習が、学校全体や地域などに働きかける活動に向かっていけるようにする。

#### ○指導観

指導に当たっては、課題発見力・課題解決力・振り返り力をつけるために以下の工夫を取り入れる。

課題発見力	<p>授業の導入では、児童の振り返りの記述や、授業内外でのやりとりをもとに課題へとつなげていくことで、児童が自分達で課題をつくっていくという意識を育てる。また、立ち止まりポイントを児童自身に気付かせることで、課題発見力を高めていく。</p> <p>神石高原町の特産物について調べたり、実際に野菜を栽培したりする中で、野菜の栽培方法などについての知識を深めさせていく。</p> <p>オリジナル料理作りでは、レシピを考案し料理を作ったり、料理の振り返りをしたりする中で、よりよい料理にするにはどうすればよいかを児童に考えさせ、自分達で課題を発見できるようにしていく。</p>
課題解決力	<p>単元を進める中で、やりたい活動に必要なことを話し合い、実践する。野菜を育てたり、料理を作ったりするために必要な情報や物をどのように集めるのか、作った料理を食べてもらうにはどうすればよいのかなどを様々な方法を用</p>

	<p>いて解決できるようにする。その際、教員や地域の方への協力をお願いも児童が行うようにすることで、解決方法に広がりをもてるようにする。</p> <p>情報収集の方法を身につけるために、思考ツールを使った学び方やインタビュー、電話のかけ方なども指導する。調べたことについては、Jamboardなどを活用し整理・可視化させることで、今、自分達の欲しい情報を得られているのか、次に自分達はどんな情報を必要としているのかを考えさせていく。</p> <p>課題解決の経験を積む中で、自分の役割をもって活動したり、みんなで協力する活動を行ったりして、学級としての課題解決力も高めていく。</p>
振り返り力	<p>振り返りの時には「今回できるようになったこと」「次にやりたいこと、やるべきこと」という視点を与え、今後の学習を見通した振り返りとなるようにさせる。授業導入時に振り返りを確認することで、活動のつながりを意識した振り返りができるようにしていく。</p>

## ○単元の目標

神石高原町の特産物について調べる、野菜を育てる、料理を作って広めるなどの活動を通して、神石高原町の魅力が自分達の豊かな生活に関わっていることを理解し、より豊かな生活にしていくための課題について探究的・協働的な学習を行い、地域への親しみを深める。

## 6 評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		課題発見力・課題解決力	振り返り力
単元の評価規準	<p>①神石高原町には多くの特産物があることや野菜の育て方、レシピの作り方を理解している。</p> <p>②ウェブサイトや本、インタビューなどの方法で、多様な情報を収集している。</p> <p>③神石高原町の魅力が自分達の豊かな生活に関わっていることの理解は、町の魅力の生かし方を探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。</p>	<p>①神石高原町の魅力を生かし、自分達の生活をより豊かにするための課題を設定することができている。</p> <p>②野菜を育てたり、料理を考え広めたりするために必要な情報について、手段を選択して多様な方法で収集したり、様々な媒体で蓄積したりしている。</p> <p>③課題の解決に必要な情報を取捨選択しながら解決に向けて考えることができている。</p> <p>④相手や目的に応じて、効果的に表現することができている。</p>	<p>①課題解決に向けた自他の取り組みを振り返ることを通して、自分の意思で探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>②活動を通して、自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>③神石高原町の魅力を伝えるために自分にできることに取り組むことを通して、郷土の良さを見直そうとしている。</p>

## 7 単元におけるルーブリック（思考力・判断力・表現力等）

	A	B	C
--	---	---	---

項目	課題の解決に必要な情報を取捨選択したり，複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えることができる。	課題の解決に必要な情報を取捨選択しながら解決に向けて考えることができる。	課題の解決に必要な情報を取捨選択しながら解決に向けて考えることができていない。
----	---	--------------------------------------	---

8 学習過程ごとの主な学習活動（全70時間）

★＝立ち止まりポイント

（本当にこれでいいのか，壁にぶつかったときどうすればいいのか考える場面）

時数	学習過程ごとの主な学習活動	
2	<p>【5月】</p> <p>○単元の課題設定をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の活動を思い出ししながら，今年度やりたいことを考える。</li> <li>・昨年度作ったこんにやく以外の特産物を使って，活動ができないか考える。</li> <li>・神石高原町にはどのような特産物があるのかを調べる。</li> </ul> <p>年間テーマ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     神石高原町の野菜を使ったオリジナル料理を食べてもらおう！                 </div>	<p>農作物には旬があることに気づき，季節ごとに分けてみることにした。</p>
5	<p>課題：野菜を育てよう。</p> <p>○どの野菜を育てていくか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神石高原町ではどのような野菜が育てられているのか調べる。</li> <li>・野菜の旬を調べ，この時期に育てられる野菜を考える。</li> <li>★夏が旬の野菜は，種まきの時期を過ぎていることに気付く。</li> <li>・地域で種や苗を売っているお店に電話をし，確認する。</li> <li>・農業をしている家族に聞いてみる。</li> <li>・野菜作りの本をみて，なにか方法がないか探す。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➡「植え付け」なら間に合うことが分かった。</li> </ul> </li> <li>・各班1種類ずつ育てる野菜を決める。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     植え付けが間に合う作物の中から，自分達が育てたい物を各班で決めた。                 </div>	
2	<p>【6月】</p> <p>○野菜を育てるための準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育てるためにはなにが必要か調べる。</li> </ul>	

★畑の作り方、苗の植え方が分からないことに気付く。

➡昨年度もお世話になった、地域の方に連絡をして、協力してもらう。

・必要なものを購入するために、校長先生にお願いをする。

★「自分達の活動は、学校にとってどんな良いことがあるのか。」問いかけられる。

➡地域の人にも食べてもらうことで、学校に協力してくれる人が増えるのではないかと考える。

・野菜の苗を植える。

★3年生が植えていたこんにゃく芋が、動物に掘り起こされており、自分達も対策をすべきと考える。

5 課題：野菜を動物から守ろう。

○野菜を動物から守るための対策をする。

・どのような方法があるのか調べる。

★インターネットで調べた対策は、本当に効果があるのか考える。

➡家族や先生、昨年度野菜を育てた5年生にインタビューをする。

・学校にある材料で、考えた対策を実行する。

★1週間後に、動物にトウモロコシの苗を折られる。

・対策の改善案を考え、実行する。

調べた対策を交流し、より効果的な方法を選び、実践した。

1 1 課題：神石高原町の野菜を使った、オリジナル料理を作ろう。

○レシピを考える。

・誰に食べてもらうのか、学校でできる調理の制限などを確認する。

・ウェブサイト、本、インタビューなどで情報を集め、どんな料理を作るか考える。

★ウェブサイトや本に載っているレシピのままで

「オリジナル料理」といえるのだろうかという疑問をもつ。

➡よりおいしくなるように材料を足したり、変えたりする。

・班で1つずつ作りたいレシピを決め、発表する。

○料理を作るために必要な材料を考える。

・5人分の料理に必要な分量を計算する。

・材料費を知るために、材料の値段を調べる。



育てた野菜を生かしたレシピを考えるために、ウェブサイトや本を活用し、作りたい料理を決めました。



★5品を5人分作ると、金額が大きくなってしまい、校長先生から許可が出なかったことを受けどうすれば実現できるか考える。

- ➡夏に合う料理と秋の食材に代えてもできる料理に分け、夏に合う料理（2品）のみ作ることで、金額を抑える。



3

【7月】

- 考えた料理を作る。
  - ・レシピを確認して、手順を確認する。
  - ・オリジナル料理を作り、視点に沿って感想を書く。



簡単だったし、すごくおいしそうにできたね！

感想の視点

- ①おいしさ                      ②手軽さ
- ③季節感                        ④おすすめ度



4

課題：オリジナル料理を食べてもらおう。

- オリジナル料理について振り返る。
  - ・感想をもとに、良かった点や改善点を考える。

料理名	評価		
 <p>「しらすとマトの和え物」</p>	おいしさ	☆☆☆☆	
	手軽さ	☆☆☆☆	
	季節感	☆☆☆☆	
	おすすめ度	☆☆☆☆	

よかったところ		かいたほしいところ	
おい	おいしい	少し味が	少しの味
おい	おいしい	かいた	かいた
おい	おいしい	かいた	かいた
おい	おいしい	かいた	かいた

パスタの味が薄かったのはどうしてだろう？  
ゆでるときにシオを入れてなかった！  
きちんと水切りができていなかった！

- 先生に食べてもらうための準備をする。
  - ・招待状を作ったり，感想を書いてもらうカードを作ったりする。

「いつまでに」や「回収する日」も入れた方が良いのではないかという児童の発言から、他のグループもそれらを書くようにした。



- 料理を作って，先生に食べてもらう。
  - ・できた料理を持っていき，感想を書いてもらう。



【9月】

- 1 ○振り返りから、2学期の活動について話し合う。  
 ・1学期の活動を振り返り2学期にやりたいことを話し合う。

課題：給食の献立を考え、給食として作ってもらおう。



- 1 ○活動の計画を立てる。  
 ・1学期の活動をもとに計画を立てる。

どんな食材が使われているのだろう？  
 いつも使われている食材はなんだろう？  
 ノンエッグマヨネーズって？



- 2 ○給食の献立を見て、分析をする。  
 ・食材に注目して、様々な視点から分析する。  
 ★給食の献立には、どんなきまりがあるのだろうかという疑問をもつ。

- 2 ○給食の献立を考えている栄養士さんに話を聞くための準備をする。  
 ・誰が神石高原町の給食の献立を考えているのか、どうやって連絡するのかを調べる。  
 ・栄養士さんに聞きたいことをまとめる。

あらかじめ、質問したいことを集めて栄養士さんに伝えれば、多くのことを知ることができるかもしれない！



【10月】

- ・栄養士さんに学校に来てもらい、話を聞く。

給食には予算があるから、すきなだけ食材を使うわけにはいかないんだ！



- 5 ○給食の献立を考える。  
 ★献立を考えるには、実際に作って食べてみる必要があるけど、全部学校で調理できないということに気付く。  
 ➡献立の中の1品だけレシピを考えよう。

- ・インターネット、本、インタビューなどで情報を集め、どんな料理を作るか考える。

神石高原町産の食材を使わないと、神石の魅力を紹介できない！  
 これまでの高原ランチで使われた食材を見てみよう！

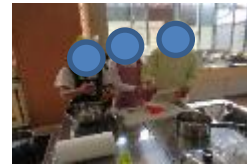


- |  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・必要な材料や手順を確認する。</li></ul> |
|--|---|



【11月】

- ・オリジナル料理を作り，感想を書く。



3

- 調理した料理について振り返りをする。
  - ・おいしさ ・いろいろ ・かんたんさ
  - ・神石らしさ・栄養バランス
  - それぞれ☆5つまでで評価し，☆が一番多いレシピを提案する！

完成した料理



- ・栄養士さんや先生にアドバイスをもらう。

9

- 栄養士さんのアイデアから課題を見いだす。
  - ①オリジナリティのある名前を考える。
  - ②具材をゆでる順番を考える。
  - ③取ったトマトの種はどうするのか。
  - ④トマトのサイズをどうするか。とうふの量をどうするか。



- ・自分達の感想と栄養士さんからのアドバイスをもとに，改善案を考える。（本時）

神石のよさを伝えるために、神石の宝「トレジャー」という言葉を入れたいな！



- ・栄養士さんに再度，料理を見てもらう。

3

- 給食に出すための準備をする。
  - ・栄養士さんと日付などの打ち合わせをする。
  - ・紹介の文章や動画，食べた人に書いてもらうアンケートの用意をする。
  - ・アンケートを送るための準備をする。

料理を紹介するポスターには，どんな情報を載せれば良いかな？  
一目見ただけで魅力が伝わるポスターにしたいな。





9 本時の学習

(1) 本時の目標

レシピの改善案を考える活動において、課題の解決に必要な情報を取捨選択しながら解決に向けて考えることができる。

(2) 本時の評価規準

課題の解決に必要な情報を取捨選択しながら解決に向けて考えることができている。

(3) 準備物

〔指導者〕 電子黒板〔児童〕 総合ファイル、タブレット

(4) 学習の展開 (46/70時間)

<p>学習活動 ○指導者 ・予想される児童の発言</p>	<p>・指導上の留意事項 ○評価規準および判断基準 (方法)</p>
<p>1 前時の振り返りを行い、本時の活動を確認する。(3分)</p>	<p>・活動の写真を提示し、前時までの学習を振り返る。</p>
<p>反省やアドバイスをもとに、レシピをかいぜんしよう。</p>	
<p>2 話し合いについて確認する。(2分)</p> <p>話し合うこと どうすれば、かいぜんできるか</p>	<p>・話し合うことを提示し、本時の授業の見通しをもてるようにする。</p>
<p>3 レシピの改善案を考え、提案する。(2.5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと栄養バランスをよくするために、食材を足してみよう。</li> <li>・みんなに「おいしい」といってもらえるように、調理方法を工夫してみよう。</li> <li>・彩りをよくするために、にんじんを増やそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループでの活動にすることで、全員が話し合いに参加しやすくなるようにする。</li> <li>・栄養士さんのアドバイスや自分達の反省を紙にまとめておき、何度も見返しながら活動ができるようにする。</li> <li>・必要に応じて、グループごとの交流を促すことで、様々な視点から改善ができるようにする。</li> <li>・考えた改善案を、児童が黒板に書けるようにする。</li> </ul> <p>○課題の解決に必要な情報を取捨選択しながら解決に向けて考えることができている。 (行動観察)</p>
<p>4 提案された改善案の中から、よりよいものを選ぶ。 (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選ぶのみではなく、意見を統合するなどの選択肢がもてるように声かけをする。</li> <li>・理由を明確にししながら意見を述べるようにする。</li> </ul>
<p>5 本時の振り返りをする。(5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの活動でがんばったことや次の時間に解決したいことなどの視点に沿って振り返りができるようにする。</li> </ul>

10 板書計画

反省やアドバイスをもと  
に、レシピをかいぜんしよ  
う。

①かいぜんするところ

②どうすれば、かいぜん  
できるか

話し合うこと  
どうすれば、かいぜんでき  
るか

